

鈴鹿亀山道路

コミュニケーションプロセス

三重県

平成25年7月26日

1. コミュニケーションプロセスとは

コミュニケーションプロセスとは、構想段階における計画策定プロセスの透明性、客観性、合理性、公正性を高めること、及びより良い計画づくりに資することを目的として、双方向コミュニケーションとなるように、住民・関係者等への情報提供、住民・関係者等からの意見把握を積極的に行い、計画へのニーズの反映を行う手続をさす。

なお、住民意見聴取を双方向で行うなどにより、実施主体や住民等との情報共有が期待できる。

2. 検討手順と意見聴取内容の概要

計画検討手順

STEP1

計画検討の発議
手順の明確化

意見聴取

道路整備の必要性の意向や、複数案の設定と評価項目の設定に繋がる配慮すべき事項などを把握する

調査時期：9月ごろ

STEP2

道路整備の必要性の確認
複数案の設定と評価項目の設定

意見聴取

ルート帯などの複数案の評価につながり、ルートを決定する際の配慮すべき項目を把握する

STEP3

複数案の比較評価

STEP4

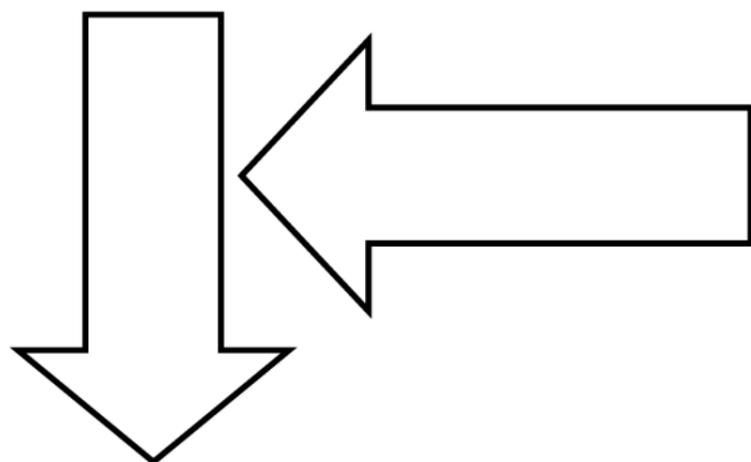
概略計画案の選定
対応方針案の策定

3.意見聴取①における意見聴取の考え方

意見聴取①

道路整備の必要性の意向や、複数案の設定と評価項目の設定に繋がる配慮すべき事項などを把握する

- ・ 県民等が求める道路の機能は何か
- ・ 県民等が関心の高いことなど配慮すべき事項は何か
- ・ 実施主体の考えが県民等の認識と違っていないか



意見聴取のとりまとめの方法

- ・ 一部の属性に偏ることなく、利害関係を伴う様々な属性の方からの意見をお聞きする
- ・ とりまとめにあたっては既存のデータ等が存在する場合は活用する

主なねらい	今回想定している手法
広く一般から（非利用者を含めて）課題や必要性の意向（傾向）を把握する	アンケート①（アンケート）
事業によってもたらされる影響を特に受けるものから、細かく課題や必要性を把握する	ヒアリング①（関係団体等へのヒアリング）
実施主体の考えをあらかじめ示し、県民等の意識とのズレを把握する	参加型意見交換会①（100人協議会）

4. 意見聴取 アンケート

1) 調査対象

- ・県内外の方

2) 調査の内容

- ・県内道路の利用状況
- ・地域の道路整備ニーズの把握
- ・道路事業全般に対する要望
- ・今後の道路事業にあたって配慮すべき事項
- ・環境影響評価の配慮書案作成に係る参考意見

3) 調査の方法

- ・ホームページによるアンケート
(郵送、ファックスでの回収含む)

4) 実施時期

- ・9月初旬～9月末

アンケート(案)

- 問1 あなたご自身についてお答えください。
性別、年齢、住所、免許の有無、職業
- 問2 普通の自動車利用についてお聞きします。
自動車の利用頻度、自動車の主な利用目的、自動車での主な行き先
- 問3 道路について、あなたはどのように思われていますか？
「台風や津波など大規模災害時の地区孤立の不安を感じる。」など5つの選択項目を選択して回答。なお、自由回答欄あり。
- 問4 高速道路や国道などの幹線道路整備を引き続き重点的に進めていくことは重要だと思いますか？
「必要」、「必要でない」、「どちらともいえない」から選択。
- 問5 国道などの幹線道路について、どのような道路の整備を望みますか？
「循環する高速道路」、「交通を分散し、渋滞を緩和・解消する道路」など6つの項目から重要な順に5つ選択。
- 問6 今後、道路整備を行う場合、気をつけるべきことは何ですか？
「地域の生活に悪影響がでないこと(騒音、大気汚染等)」、「自然環境に悪影響がでないこと」などの6つの項目から重要な順に2つ選択。
- 問7 新しい高速道路などが完成した場合の利用の有無についてお聞きします。
「新名神高速道路」「東海環状自動車道路」「近畿自動車道紀勢線」「鈴鹿亀山道路」「四日市インターアクセス道路」「伊勢志摩連絡道路」「名神名阪連絡道路」などの選択項目例をあげて、「利用する、ほとんど利用しない、直接利用しないが必要性を感じる」にて回答。
なお、自由回答あり。
- 問8 今後、構想中の鈴鹿亀山道路に関する環境影響評価法第3条の3に基づく『計画段階環境配慮書』の作成を予定しています。現在、三重県、亀山市や鈴鹿市が発行している文献や資料等をもとに、該当地域における環境の状況を把握するなどの作業を進めています。参考にすることが望ましい市販の書籍などがあればお書きください。また、配慮すべき施設や重要な動物、植物の分布地などがあればお書きください。
それぞれに、自由記入欄にて回答。
- 問9 また、重視してほしい環境要素があればお書きください。
「大気質」などの選択項目を選択して回答。

4. 意見聴取 アンケート

(補足) 広報誌アンケート

1) 調査対象

- ・ 県内の方

2) 調査の内容

- ・ 道路事業全般に対する要望
- ・ 今後の道路事業にあたって配慮すべき事項

3) 調査の方法

- ・ 県民だより みえ（9月号）による全戸配布、ホームページにも掲載
- ・ 郵送回収、ファックス及びホームページでの回収

4) 実施時期

- ・ 9月
（9月初旬配布、9月末回収）

5) 質問内容

- ・ アンケートの問1および問4～6に相当

5. 意見聴取 ヒアリング

1) 調査対象

整備による効果が期待される活動を行う特定のターゲット

対象案：トラック・バス協会、商工会議所・青年会議所、消防関係等

2) 調査の内容

- ・ 対象地域の道路の課題
- ・ 利用向上や利便性向上に向けたニーズ
- ・ 整備されることにより期待される効果

3) 調査の方法

調査員による直接聞き取りを基本とする

4) 実施時期

9月頃

6. 意見聴取 参加型意見交換会 (100人協議会)

1) 対象

- ・ 地域住民、商工経済(企業)、地域産業(農業等・観光)、防災関係、学生等
(公募、定員100名)

2) 内容

(提出された事前アンケートの内容を確認)

- ・ 対象地域の道路の課題
- ・ 利用意向や利便性向上に向けたニーズ
- ・ 整備されることにより期待される効果

3) 実施方法

- ・ 事前(募集段階)でアンケートを実施

- ・ 鈴鹿亀山地域の道路を利用する際に困ったこと
- ・ 鈴鹿亀山地域の道路・交通問題を解決するために必要と考えられること(地域経済の視点、渋滞対策の視点、防災対策の視点、地域活性化(観光等)等の視点から)

- ・ 10~20人のグループで対話方式による意見交換

4) 実施時期

- ・ 9月